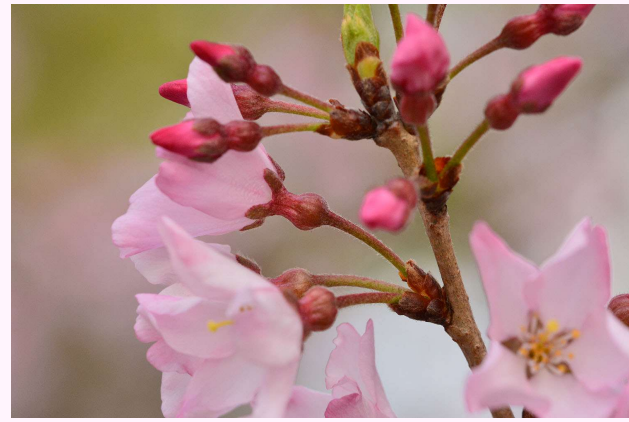
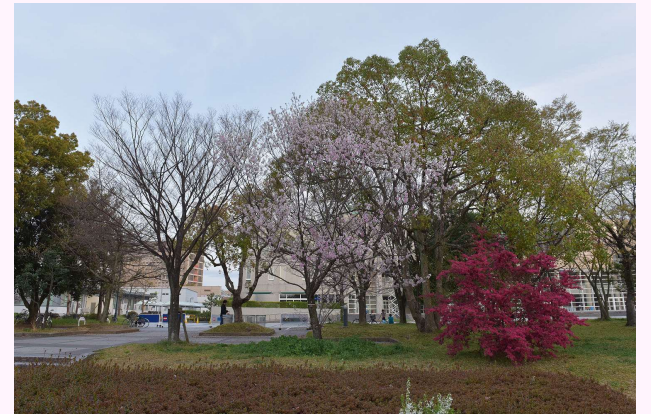
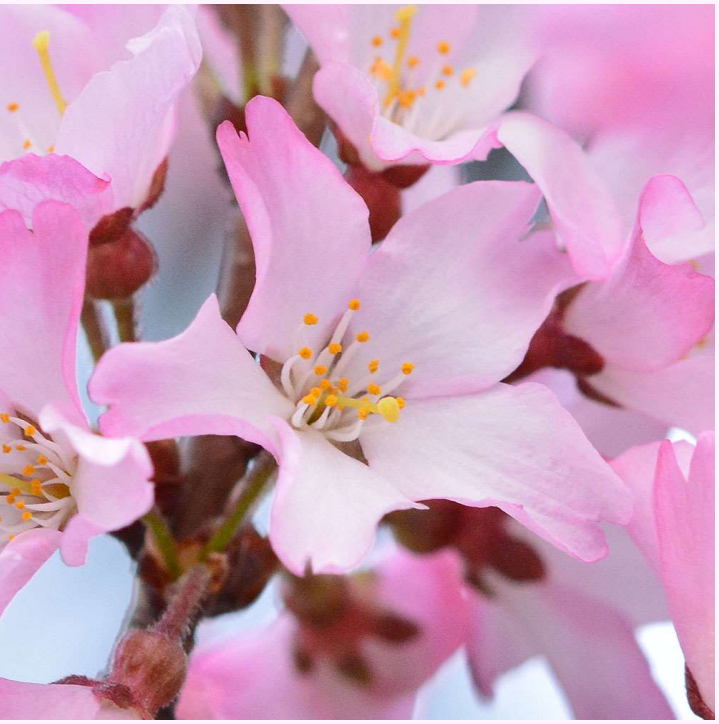


エドヒガン

開花期 花色 淡紅 花重 一重 がく裂片鋸齒 あり

3月下旬 花冠径 19 花弁数 5 小花柄毛 あり



江戸周辺でよく植えられ春の彼岸の頃に開花するのでついた名、東北から九州に分布、花は白色から紅色と変異あり、開花時に葉芽は開かず、歯がないという意味から姥桜とも呼ばれる、がく筒はくびれたひょうたん型、天然記念物に指定された大木もある